



きらめき

kirameki



発行責任者 利根中央病院 病院長
編集責任者 利根中央病院 事務長
〒378-0012 群馬県沼田市沼須町910-1
TEL:0278-22-4321(代表) FAX:0278-22-4393
URL:https://www.tonehoken.or.jp/

新任のごあいさつ 地域とともに歩む医療をめざして

このたび、2026年4月より利根中央病院院長に就任いたしました河内英行です。長年にわたり利根沼田地域の中核病院として、地域医療を支えてきた当院の責任を担うこととなり、大きな使命と責任を感じております。

当院は、急性期医療をはじめ、救急医療、周産期・小児医療、災害医療など、地域に欠かすことのできない医療を担ってきました。救急医療においては、昼夜を問わず患者さまを受け入れ、2025年度には沼田医療圏における救急車受け入れの約6割弱を担当するなど、地域の「いざという時」を支える役割を果たしています。また、周産期医療においては地域で唯一の医療機関として、妊娠・出産から新生児医療まで切れ目のない医療体制を整え、安心して子どもを産み育てられる環境づくりに取り組んできました。

さらに、災害拠点病院として平時から体制整備を進め、災害派遣医療チーム(DMAT)による活動など、災



病院長

河内 英行

かわうち ひでゆき



害時にも地域に貢献できる病院づくりを進めています。近年は循環器センターを新設し、心不全などの循環器疾患の早期発見・早期対応にも力を入れています。

私は、医療とは病気を治すことだけでなく、患者さまやご家族の不安に寄り添い、生活そのものを支える営みであると考えています。今後も職員一人ひとりが誇りとやりがいを持って働ける環境を大切にしながら、地域の医療機関や行政、介護・福祉分野の皆さまと連携し、安心して暮らし続けられる地域医療の実現に努めてまいります。

退任のごあいさつ

この度、2026年3月31日をもって利根中央病院・病院長を退任させていただくことになりました。2021年4月に病院長に就任して5年間ですが、沼田利根医師会・群馬県内外の医療機関の先生方や行政の諸先生方には大変お世話になりました。

就任当初、職員に対しコンセプトとして「範」「慮」という二つの漢字を掲げました。「範」は文字通り手本を意味し、「慮」は思いを巡らせ行動を伴うことを意味します。これらが達成できたとは言えませんが、諸先生方のご協力をいただきながら職員一丸となって新型コロナウイルス感染症や厳しい経営状況を切り抜ける事



名誉院長

関原 正夫

せきはら まさお



ができました。

在任中はお世話になり、ありがとうございました。今後とも河内新病院長と利根中央病院をよろしくお願い申し上げます。皆様の益々の御健勝を衷心よりお祈り申し上げます。



新任医師 紹介

はじめまして、総合診療科の杉浦岳と申します。ずっと救急集中治療の分野で診療をしてまいりましたが、慢性期から急性期まで総合的に診療し、地域医療に貢献したいと思い、異動してまいりました。趣味はサッカー観戦で、北海道コンサドーレ札幌の熱烈なサポーターです。合間を見て遠征にも行き、全力で応援しております。どうぞよろしく申し上げます。



総合診療科

杉浦 岳

すぎうら かく



栃木医療センターから半年間赴任させていただくことになりました山崎と申します。地域住民に安心して相談していただける医師を目指し診療に取り組んでまいります。趣味は旅行です。研修期間を通じて沼田周辺を開拓していきたいです。ご指導よろしく申し上げます。



総合診療科

山崎 孝洋

やまざき こうよう



はじめまして、日向拓也と申します。行政機関で医療安全等に関わる仕事をしておりましたが、地域の健康増進に携わりたく、総合診療科の一員として勤務させていただくことになりました。どうぞよろしくお願いたします。



総合診療科

日向 拓也

ひゅうが たくや



本年度より利根中央病院に赴任しました。前任は前橋赤十字病院で勤めておりました。沼田での勤務は初めてになります。皆様のお力になれるよう日々精進したいと思います。よろしくお願いたします。



外科

黒川 真登

くろかわ まさと



このたび着任いたしました。丁寧で分かりやすい診療を心がけております。患者さま一人ひとりに寄り添い、地域医療に貢献できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いたします。



整形外科

川野辺 悠希

かわのべ ゆうき



整形外科の市川景一と申します。高崎市出身で前任地は高崎総合医療センターです。利根沼田地域はいつもウィンタースポーツでお世話になっております。誠心誠意、診療にあたらせていただきますので、何卒よろしくお願いたします。



整形外科

市川 景一

いちかわ けいいち



今年度より利根中央病院に勤務させていただき事になりました。利根沼田地域の医療に貢献できるよう、子ども達に適切な医療を提供できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



小児科

前原 孝史

まえはら たかし



初期研修以来2年ぶりに利根中央病院で勤務させていただきことになりました。地域の皆様に寄り添い、お子さまとご家族が安心して医療を受けられるよう、温かい診療を心がけてまいります。よろしくお願いいたします。



小児科

野中 滉久

のなか ひるなが



臨床研修報告会 開催

3月21日(土)、当院にて2025年度群馬民医連臨床研修報告会が開催されました。本報告会は、初期研修医および専攻医が1年間の研修で得た学びを報告し、指導医やコメディカルと共有することを目的として、毎年開催しております。

今年度は「私を成長させてくれた事例」をテーマに、全24演題の発表が行われ、地域の患者さんと真摯に向き合う中で得られた学びについて、それぞれが発表

しました。報告会の終了後は、研修修了者の卒業セレモニーと、研修医やコメディカルによる投票で選ばれた指導医を表彰する「グッドティーチャー賞」の授与も行われ、利根中央病院から消化器内科 山田俊哉 Dr、循環器内科 近藤誠 Dr、前橋協立病院から小児科 齋藤耕一郎 Dr が表彰されました。

当日会場へ足を運んでいただいた皆様、本当にありがとうございました。





研修医 紹介

ごあいさつ

新年度を迎え、当院に新たに初期研修医7名が加わりました。若いやる気に満ちた、研修医をはじめとした新人が加わることで院内が活性化される感があります。

初期研修医には、研修期間中にまず医師としてのしっかりとした基礎をつくって、地域の医療にも貢献してくれることを期待しています。視野を広くもち、それぞれの目標に向かって頑張ってもらいたいと思います。

「鉄は熱いうちに打て」という格言がありますが、まさに臨床研修にも当てはまる言葉だと思います。医



研修プログラム
責任者・副院長

吉見 誠至

よしみ せいし



学は日々進歩していきますので、アップデートしていかないと遅れをとることになりますが、身につけた医療に対する姿勢というのは変わらないものだろうと思います。よりよい臨床研修ができますように今後とも御指導・御鞭撻のほどよろしくお願い致します。

4月より研修医として勤務いたします。渡邊ゆりのと申します。日々の研修を通して、一つひとつ丁寧に学び、地域医療に貢献できるよう努めてまいります。よろしくお願い致します。



初期研修医
渡邊 ゆりの
わたなべ



このたび着任いたしました。将棋が好きで、次の展開を考える時間を大切にしています。診療でも患者さんと丁寧に向き合い、ともに最善の一手を見つけていきたいと思っています。



初期研修医
石崎 海帆
いしざき かいほ



今年度より研修医としてお世話になります。大津圭吾と申します。栃木県真岡市出身で、群馬大学を卒業しました。利根沼田地域の医療に貢献できるよう、日々精進して参ります。ご指導のほどよろしくお願い致します。



初期研修医
大津 圭吾
おおつ けいご



4月より研修医として勤務いたします。小島和と申します。学生時代からとてもお世話になった当院で研修ができることを心より嬉しく思います。至らない点も多いとは存じますが、ご指導の程よろしくお願い致します。



初期研修医
小島 和
こじま あえる



今年度より研修医として勤務いたします。橋本尚己と申します。伊勢崎市出身で群馬大学を卒業しました。地域の皆様や病院に少しでも貢献できるよう、日々精進して参ります。ご指導のほどよろしくお願い致します。



初期研修医
橋本 尚己
はしもと なおき



今年度から研修医としてお世話になります。桐生市出身であり、地域に寄り添える医師になりたいと考えています。この度は利根沼田地域に寄り添った医療を提供できるように努力いたします。よろしくお願い致します。



初期研修医
平石 瑠
ひらいし りゅう



学生時代に実習等でお世話になった利根中央病院で研修できることを大変うれしく思います。日々学びを重ねながら、患者さん一人ひとりに丁寧に向き合い、地域の先生方と連携して診療に努めてまいります。何卒よろしくお願い致します。



初期研修医
森 なつ実
もり なつみ





薬剤部 紹介

薬剤部は常勤薬剤師13名、非常勤薬剤師1名、調剤助手2名が勤務し、病院2階のスタッフゾーンに位置しています。

調剤は、業務効率のための機械化が進み、少人数の薬剤師でも短時間で業務をおこなえるようになりました。2025年3月には「錠剤一包化監査支援システム」を導入し、一包化された錠剤の監査も簡略化され、誤調剤も大幅に減少しました。2024年8月より、系列の老人保健施設の定期処方調剤、配薬もおこなっています。

薬品管理は、昨今の医薬品供給不足の影響もあり、高精度の数量管理および品質管理が求められています。調剤助手2名が担当し、日々奮闘しています。

病院薬剤師として主業務となる病棟業務は、地域包括ケア病棟および回復期リハビリテーション病棟以外の病棟には、1病棟に複数の薬剤師を常駐配置し薬物療法に携わっています。体制が整わず常駐配置できていない2病棟は窓口となる担当薬剤師を配置し、病棟からの問い合わせに対応しています。安心安全の薬物療法のため、常勤薬剤師を増やし体制を整え全病棟常駐配置にしていきたいと思っています。



薬剤部長

大竹 美恵子

おおたけ みえこ



院内で実施される抗がん薬の混注作業は、全て薬剤師がおこなっています。院内で実施する抗がん薬薬物療法は、レジメン審査委員会で承認されたレジメンのみ実施可能で、違う診療科でも同がん種の同薬剤のレジメンは前投薬、後投薬の輸液も全て統一し薬剤師主導でレジメンを作成しています。

医療安全、感染管理、AST、NST、がん診療、緩和ケア、糖尿病、心不全予防、災害対策など、院内のチームに主構成員として参加し活動をおこなっています。

今後は地域の患者のため、安定した薬物療法に関わっていきたいと思っています。そのためにも「地域フォーミュラリー」の作成を検討したいと思いますので、ご協力お願いいたします。



錠剤一包化監査支援システム



抗がん薬無菌調製



水害訓練 実施

2017年の水防法改正により、洪水浸水想定区域の指定対象はすべての河川流域に拡大されました。

利根中央病院周辺は、片品川上流にある藪原ダムの緊急放流による水害が想定され、2021年の防災マップ改訂により家屋倒壊等氾濫想定区域に指定されました。そのため、当院では避難計画を策定し、年一回の避難訓練を行っています。

今回は、2026年3月7日に4回目となる病院避難訓練を実施しました。訓練では「片品川氾濫危険情報」の発出とともに災害対策本部を設置することから始まり、患者、搬送手段、転院先医療機関、添乗職員の調整(マッチング)を行い、避難体制およびマニュアルの実効性を確認しました。

今後も地域医療機関および各行政機関の皆様と連携強化を図り、円滑な広域避難体制の構築に努めていきます。



訓練の様子



訓練の様子

CPC(臨床病理検討会) 開催

3月23日に第260回CPC(臨床病理検討会)が開催され、外部の医師7名を含む総勢31名の参加がありました。研修医による臨床経過と病理解剖所見(肉眼・顕微鏡的)が提示され、臨床と病理の双方の立場から、活発な意見交換の場となりました。実際の臓器を手にとって観察する機会もあり、普段の診療ではできない貴重な経験を積むことができました。

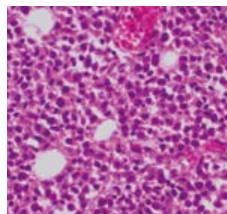
参加者にとって臨床と病理の双方向から総合的に病態を理解し、医師としての能力を向上させる良い機会になりました。



病変のマッピング図



臨床経過を提示する研修医



病変部の顕微鏡写真



病理医による臓器の説明

利根中央病院

外来受付時間一部変更のお知らせ

2026年4月1日より、予約外の患者様の土曜日外来受付時間を一部変更いたしました。

3月まで

8:40 ~ 11:30



4月以降

8:40 ~ 11:00

※土曜日のみ上記の時間へ変更となりますのでご注意ください。

いつも、病院だより「きらめき」をお読みいただきありがとうございます。

当院ホームページにバックナンバーも掲載していますので併せてご覧いただければ幸いです。

Q 利根中央病院 病院だより

